

# 第2章

## 宗像市の概況

1. 沿革と位置
2. 気象
3. 人口
4. 産業
5. 土地利用

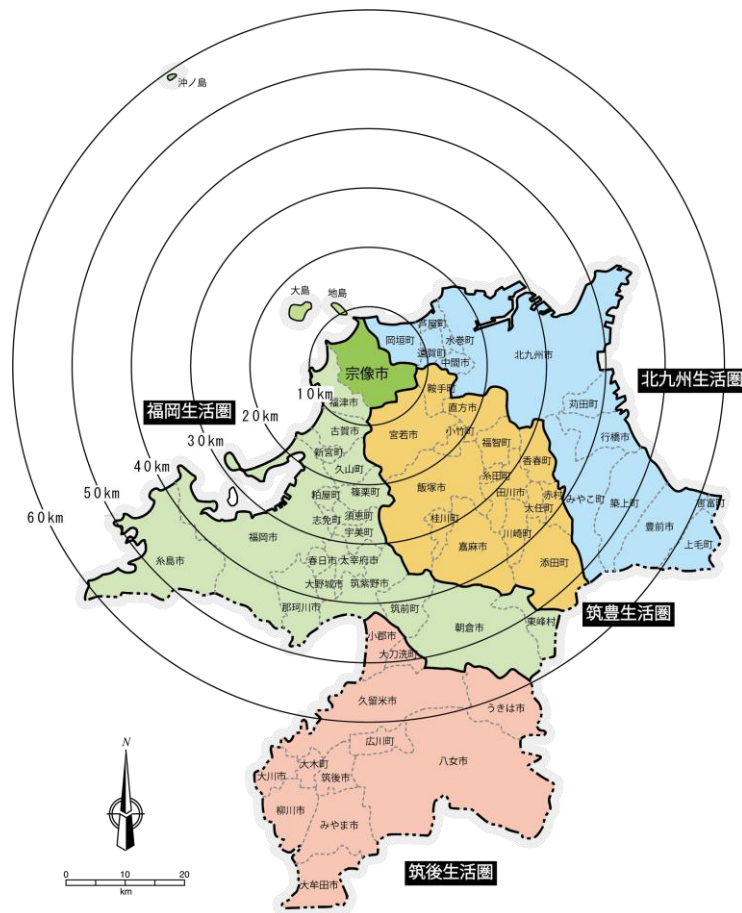
## 2章 宗像市の概況

### 1. 沿革と位置

本市は、福岡市と北九州市の両政令指定都市の間に位置しており、北は玄界灘に面し、三方向は山に囲まれ、市中央を釣川が貫流しています。大島、地島、勝島、沖ノ島などの離島を有し、市域面積は 119.94k m<sup>2</sup>です。

政令都市の間に位置するという恵まれた地理的条件、玄界灘の美しい海岸線やさつき松原、釣川、四塚連山などの豊かな自然、宗像大社、鎮国寺などの寺社仏閣や、旧唐津街道沿いの赤間宿、原町の街なみなど貴重な歴史・文化遺産などが魅力となり、本市は、昭和 40 年代以降、大規模な住宅団地開発や大学建設が相次いで進み、住宅都市、文化・学術都市として発展してきました。

平成 15 年 4 月に旧宗像市と宗像郡玄海町が合併、さらに平成 17 年 3 月の宗像郡大島村との合併により、新宗像市が誕生しました。現在は、市民と行政が一緒に、地域コミュニティを核とする市民参画・協働によるまちづくりを進めています。



■ 宗像市の位置

## 2. 気象

宗像アメダス観測所で測定された平年値（1991～2020年の30年平均値）では、年間降水量1,665mm、平均気温15.9℃となっています。

年間を通じて温暖で、夏季に雨が多い気候ですが、冬季には北西の季節風が吹きつけ、曇りの日が多い日本海型気候区の特徴が見られます。



[資料: 気象庁 平年値【宗像 1991～2020年】月別の値]

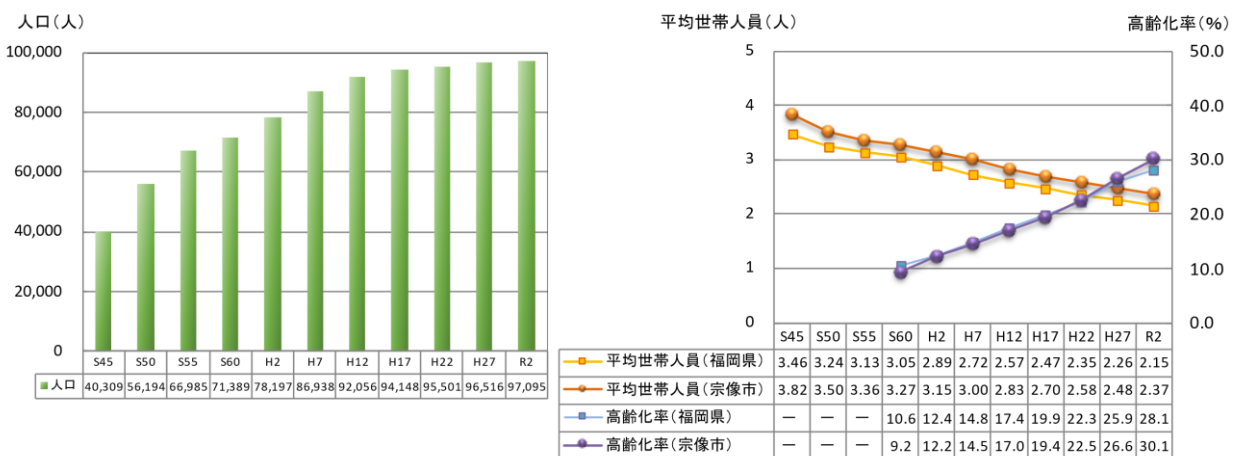
■宗像市の月別平均気温と降水量(平年値)

## 3. 人口

令和2年国勢調査による本市の総人口は97,095人、世帯数は41,038世帯となっています。人口は緩やかに増加していますが、増加傾向は鈍化しています。

世帯あたりの人員は、減少傾向が続いています。これは、単独世帯の増加や核家族化の進行によるものと考えられます。また、高齢者人口（65歳以上）の比率は30.1%（平成27年国勢調査：26.6%）となっており、今後さらに高齢化が進行すると予想されます。

宗像市人口ビジョン（令和2年4月）による人口の将来展望では、将来の人口減少を見据えた施策を着実に積み重ねた上で、2065年（令和47年）の将来展望人口は約90,000人（高齢者人口の比率は約36%）となることを見込まれています。



[資料: 国勢調査]

■人口と平均世帯人員、高齢化率の推移

## 4. 産業

令和2年国勢調査によると、本市の就業人口の構成比は、第1次産業3.1%、第2次産業21.8%、第3次産業75.1%で、第3次産業への就業者割合が高くなっています。

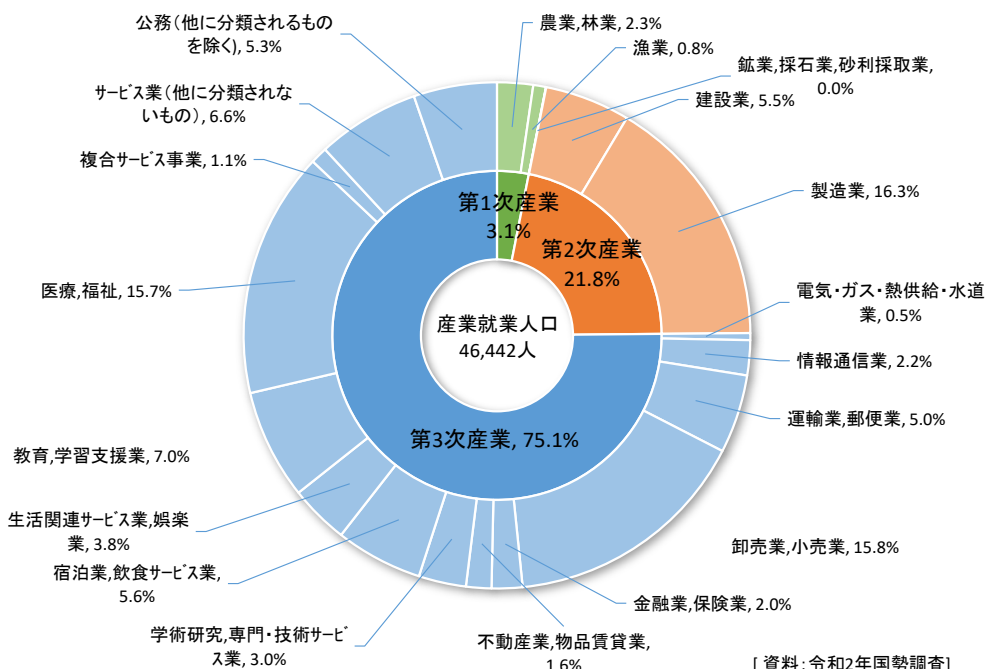
ただし、市外への通勤・通学者の割合は高く、昼間は約24,000人が流出するため、行政区内に、大規模企業や商業施設の少ない本市における産業は、農業、林業、漁業などの第1次産業の占める比率が高くなっているものと考えられます。

また、平成20年にオープンした宗像市観光物産館（道の駅むなかた）の利用者数は、近年はやや減少傾向にあるものの、令和元年度も約150万人に上るなど高い水準で推移しています。観光入込客数は、令和元年度が約480万人で、以降は新型コロナウイルス感染症等の影響により減少が見込まれるものの、『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』の世界遺産登録などをきっかけとする交流人口の拡大により、観光業が各産業の成長を促すことが期待されます。

■宗像市の流入・流出人口の推移

年次	昼間人口 (A=B+E)	夜間 (常住) 人口 (B)	流入・流出人口			夜間人口に対する 昼間人口の割合 (F=A/B)
			流入人口 (C)	流出人口 (D)	増減 (E=C-D)	
平成 2年	64,020	78,197	7,403	21,580	-14,177	81.9%
7年	69,315	86,937	8,096	25,718	-17,622	79.7%
12年	74,889	92,056	9,286	26,453	-17,167	81.4%
17年	76,858	94,148	9,411	26,701	-17,290	81.6%
22年	78,895	95,501	9,115	25,721	-16,606	82.6%
27年	80,178	96,516	9,856	26,194	-16,338	83.1%
令和 2年	83,243	97,095	9,667	23,519	-13,852	85.7%

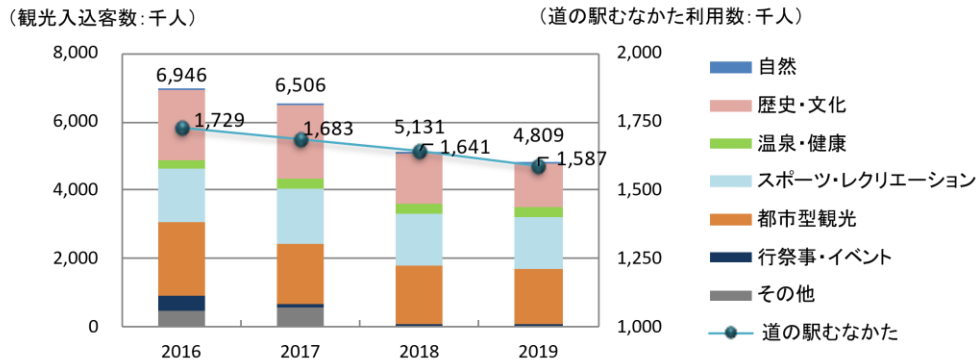
[資料:国勢調査]



[資料:令和2年国勢調査]

備考)四捨五入の関係で、個々の値の合計は必ずしも100%とならない場合があります。

### ■産業大分類別 15歳以上就業者数の割合



[資料:宗像市産業振興部商工観光課]

■観光入込客数と「道の駅むなかた」利用者数の推移

5. 土地利用

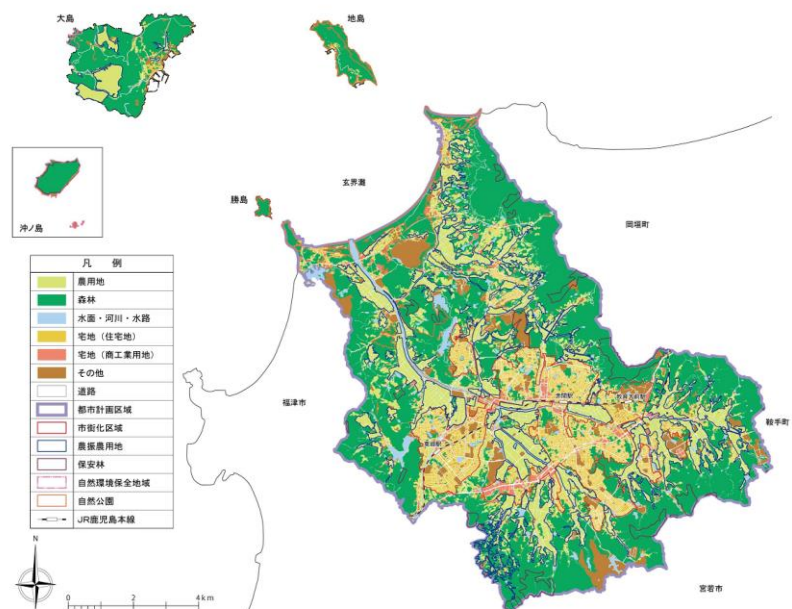
本市は、標高 200m～400m の山々や丘陵に囲まれ、海に向けて広がる盆地状の地形をなしており、中央部を釣川が貫流しています。

本市は、田、畑、山林など自然的土地利用が約 7 割を占める自然豊かな都市を形成していますが、宅地化の進行により農地は減少傾向にあります。

住宅地開発が釣川沿いの農地の後背となる丘陵部を中心に行われてきたため、市街地は分散しています。公共公益施設は、市役所周辺と高次の文化施設である宗像ユリックス総合公園周辺に一定の集積が見られますが、市全体で見ると分散した立地状況となっています。近年は個人商店が減少し、幹線道路沿道などの大規模店への店舗の集約化が進み、身近な生活圏における商店の減少による、徒歩圏内での利便性の低下が危惧されます。

また、住民の高齢化の進行や建物の老朽化による住み替えによって空き家が増加しています。

さらに、近年では太陽光発電施設の設置のための開発が行われるようになり、本市が把握するだけで令和 2 年 12 月現在、170ha を超える施設が整備されています。



[資料:第2次宗像市国土利用計画(宗像市)]

■土地利用

